

## 静嘉堂文庫所蔵『建康実録』校勘記（二）

津田資久

### はじめに

本稿は、「静嘉堂文庫所蔵『建康実録』校勘記（一）」（『国士館人文学』第一〇号、二〇二〇年）に続く、静嘉堂文庫に所蔵されることとなった清・陸心源旧蔵『写影宋 建康実録二十卷』（以下、陸本と呼称）と、その原本である中国国家図書館（旧北京図書館）所蔵の南宋紹興刊本（以下、『宋本』と呼称）の対校を行うものである。

今回は紙幅の都合、東晋前半期部分（中宗元皇帝～太宗簡文皇帝）に当たる陸本の第二冊巻第五～巻第八を扱う。

### 一 校勘凡例

・『宋本』は、『宋本建康実録』（国家図書館出版社、二〇一七年）

に拠り、錯簡がある場合は、本来あるべき葉数で示す<sup>①</sup>。また葉の表・裏はそれぞれA・Bで表記する。

・『宋本』での葉数・行数に対応した表記を行い、例えば、「三葉表五行目」は「三A―五」のように示す。更に割註がある場合は1・2で表記し、例えば「第十葉裏十一行目割註二行目」は「一〇B―一二」のように示す。複数の行や割註に跨る場合は「一―二」または「1―2」などと表わす。

・『宋本』と陸本との文字の異同を示す際には、例えば、「『宋本』に「●」とある文字を陸本では「◆」という文字に作る」という場合は、「●」「↓」「◆」という形で示す。

・俗字や陸本が筆写された清代の諱字に関する異同には基本的に言及しない。また校勘における文字表記は原則として正字（繁体字）を使用する。

- ・文字間隔から想定される欠落文字数や空格を「□」で示す。
- ・判読不能な不全文字や不鮮明の故に複数の文字が想定される場合は、「▲」で示す。

・残角等からも判読可能な不全文字や不鮮明文字は、四角で囲んで表記する。

・参考として今回の対校箇所に関り、『宋本』と張忱石点校『建康実録』(以下、張校本と呼称。全二冊、中華書局、一九八六年。のち一部断句を修訂のうえ再版、二〇〇九年)、孟昭庚・孫述圻・伍貽業点校『建康実録』(以下、孟校本と呼称。全一冊、上海古籍出版社、一九八七年)、及び近年刊行された南京出版社の張学鋒・陸帥整理『建康実録』(繁体字版と簡体字版の二種が存在。以下、どちらも指す場合は整理本と呼称し、個別に示す際には前者を整理甲本、後者を整理乙本と称す)の本文表記との間に文字の異同がある場合はその字句の異同を示す。ただし、これらに附される句読点等は省略する。

## 二 陸本第二冊の校勘

### ◎卷第五・晉上〔上〕

○中宗元皇帝

・一A―三〇四〔分丹楊南郡爲宣城郡〕↓〔分丹楊兩郡爲宣城郡〕

・一A―一〇一〔永寧二年〕↓〔永寧二年〕

※張校本・孟校本・整理本は「永寧二年」に作る。

・一A―一〇二〔一〇一〕〔秦淮夏湖〕↓〔秦淮夏架湖〕

※張校本・孟校本・整理本は「秦淮夏架湖」に作る。

・一A―一一〔劉準▲〕↓〔劉準使〕

※張校本・孟校本・整理本は「劉準使」に作る。

・一B―二二〔自▲揚州刺史〕↓〔自號揚州刺史〕

※張校本・整理本は「自號揚州刺史」に作る。

・一B―六〔署置〕↓〔置署〕

※張校本・孟校本・整理本は「置署」に作る。

・一B―八〔形勢〕↓〔形勞〕

・二A―一一〔廓清江表▲吳▲都城脩〕↓〔廓清江表因吳舊都城脩〕

※張校本・孟校本・整理本は「廓清江表因吳舊都城脩」に作る。

に作る。

・二B―一2〔太初故基〕↓〔入初故基〕

・二B―二二〔▲▲▲參▲〕↓〔賀循爲參佐〕

※張校本・孟校本・整理本は「賀循爲參佐」に作る。

・二B―三三〔▲▲客〕↓〔接賓客〕

※張校本・孟校本・整理本は「接賓客」に作る。

・二B―四…「寇洛陽」▲師淪陷懷帝▲塵」↓「寇洛陽京師淪陷懷帝蒙塵」

※張校本・孟校本・整理本は「寇洛陽京師淪陷懷帝蒙塵」に作る。

・二B―六…「二月」▲子瑯琊王▲四方▲兵」↓「二月王子瑯琊王馳檄四方徵兵」

※張校本・孟校本・整理本は「二月壬子瑯琊王馳檄四方徵兵」に作る。

・二B―八…「河」▲人▲徒」↓「河内懷人司徒」

※張校本・孟校本・整理本は「河内懷人司徒」に作る。

・二B―九…「▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲贈儀同三司」↓「卒時年六十一贈儀同三司」

※張校本・孟校本・整理本は「卒時年六十一贈儀同三司」に作る。

・二B―一〇…「玄武湖南」▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲嗣」↓「元武湖南覆舟之陽子遐嗣」

※張校本・孟校本・整理本は「玄武湖南覆舟之陽子遐嗣」に作る。

・二B―一〇1〕2〕…「案遐字彥林▲▲餘姚令▲▲」↓「按遐字彥林累拜餘姚令時江」

※張校本・整理本は「案遐字彥林累拜餘姚令時江」に作る。

り、孟校本は「按遐字彥林累拜餘姚令時江」に作る。

・二B―一〇2〕一1〕…「時江」▲▲▲▲多挾藏戸口▲▲▲▲▲▲之」↓「時江左豪族多挾藏戸口以爲私附遐純之」

※張校本・孟校本・整理本は「時江左豪族多挾藏戸口以爲私附遐純之」に作る。

・二B―一1〕2〕…「以」▲▲▲▲縣八旬出戸口万▲▲▲▲守」↓「以法到縣八旬出戸口万餘後至太守」

※張校本・孟校本・整理本は「以法到縣八旬出戸口萬餘後至太守」に作る。

・二B―一1〕…「歲」▲▲▲▲惑」↓「歲鎮熒惑」

※張校本・孟校本・整理本は「歲鎮熒惑」に作る。

・三A―三…「□冠」↓「弱冠」

※張校本・孟校本・整理本は「弱冠」に作る。

・三A―三〕四〕…「同入洛陽」↓「同入洛陽」

※張校本・孟校本・整理本は「同入洛陽」に作る。

・三A―五…「□人」↓「友人」

※張校本・孟校本・整理本は「友人」に作る。

・三B―二…「繩」↓「純」

・四A―一…「上床」↓「上牀」

※整理甲本は「上牀」に作る。

- ・四A―三…「周宣▲」↓「周宣佩」
- ※張校本・孟校本・整理本は「周宣佩」に作る。
- ・四A―七…「好▲▲」↓「好元理」
- ※張校本・孟校本・整理本は「好玄理」に作る。
- ・四A―八…「▲▲玠▲」↓「嘗聞玠言」
- ※張校本・孟校本・整理本は「嘗聞玠言」に作る。
- ・四A―九…「將家▲▲▲▲章」↓「將家南行至豫章」
- ※張校本・孟校本・整理本は「將家南行至豫章」に作る。
- ・四A―一〇…「相見▲▲▲▲永日」↓「相見欣然言論永日」
- ※張校本・孟校本・整理本は「相見欣然言論永日」に作る。
- ・四A―一一…「吐金聲於▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲」↓「吐金聲於中朝衛玠復振玉於江表」
- ※張校本・孟校本・整理本は「吐金聲於中朝衛玠復振玉於江表」に作る。
- ・四B―一…「永▲▲之末▲▲」↓「永嘉之末復聞」
- ※張校本・孟校本・整理本は「永嘉之末復聞」に作る。
- ・四B―二…「常言人有▲▲」↓「常言人有不及」
- ※張校本・孟校本・整理本は「常言人有不及」に作る。
- ・四B―三…「不見▲▲▲▲之容」↓「不見喜怒之容」
- ※張校本・孟校本・整理本は「不見喜怒之容」に作る。
- ・四B―五…「卒時年二十七」↓「卒時年二十七」
  
- ※張校本・孟校本・整理本は「卒時年二十七」に作る。
- ・四B―六…「時人謂看殺衛玠」↓「時人謂看殺衛玠」
- ※張校本・孟校本・整理本は「時人謂看殺衛玠」に作る。
- ・四B―六1―2…「下▲▲曰▲▲洗馬明日當改葬此君風流名▲▲」↓「下令曰衛洗馬明日當改葬此君風流名士」
- ※張校本・孟校本・整理本は「下令曰衛洗馬明日當改葬此君風流名士」に作る。
- ・四B―七1…「舊▲▲」↓「舊好」
- ※張校本・孟校本・整理本は「舊好」に作る。
- ・四B―七2…「何▲▲」↓「何處」
- ※張校本・孟校本・整理本は「何處」に作る。
- ・六A―一…「宣愍帝密詔令王攝萬機」↓「宣愍帝密詔令王攝萬機」
- ・六A―一1…「帝坐」↓「帝座」
- ※張校本・孟校本・整理本は「帝座」に作る。
- ・六B―一1…「七A―二…「撫寧戎▲▲靜」↓「撫寧戎夏動靜」
- ※張校本・孟校本・整理本は「撫寧戎夏動靜」に作る。
- ・七A―二…「于寶」↓「干寶」
- ※張校本・孟校本・整理本は「干寶」に作る。
- ・七B―四…「顧昞」↓「顧盼」

- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「顧盼」に作る。
- ・ 七B―八2…「袁瓌」↓「袁瓌」
- ・ 七B―11…「三十年」↓「二十年」
- ・ 八B―62…「天子所居則郡以尹爲主者也」↓「天子所居則郡以尹爲主者也」
- ・ 九B―4…「無道」↓「無道」
- ・ ※「遣」の右横に「道」が書き加えられ修正される。
- ・ 九B―6…「帝使輿疾至」↓「帝使輿疾至」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「帝使輿疾至」に作る。
- ・ 九B―11…「枕疾」↓「枕席」
- ・ ※張校本・孟校本は「枕席」に作る。
- ・ 一〇A―61…「案晉書」↓「按晉書」
- ・ ※孟校本は「按晉書」に作る。
- ・ 一〇A―62…「楊方」↓「楊万」
- ・ 一〇B―3…「散穀帛以▲貧乏」↓「散穀帛以調貧乏」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「散穀帛以調貧乏」に作る。
- ・ 一〇B―11…「A―11…▲國大耻」↓「雪國大耻」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「雪國大耻」に作る。
- ・ 一一A―7…「千餘▲上臺」↓「千餘人運上臺」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「千餘人運上臺」に作る。
- ・ 一一A―8…「遣將劉▲」↓「遣將劉夜堂」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「遣將劉夜堂」に作る。
- ・ 一一A―9…「豹宵遁▲」↓「豹宵遁走」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「豹宵遁走」に作る。
- ・ 一一B―91…「今上御名」↓「□」（本文の大文字で一字分に相当）
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「構」に作る。「構」は南宋高宗の諱字に当たるとする。
- ・ 一二A―6…「宮城南十五里」↓「宮城南十五里」
- ・ ※孟校本は「宮城南十五里」に作る。なお、張校本・整理本は「宮城南十五里」に作るべき根拠を四庫全書本・周星詒鈔本（福州陳氏藏鈔本）に求めるが、そもそも『宋本』で「宮城南十五里」と作ることは触れられていない。
- ・ 一二A―72…「即吳南郊地」↓「即吳南郊地也」
- ・ 一二A―8…「雨水冰」↓「雨水冰」
- ・ ※陸本には一度「木」と記したものを「水」に修正した形跡が見られる。
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「兩大冰」に作る。
- ・ 一二A―10…「此五穀踴貴之象」↓「此五穀踴貴之象」
- ・ ※張校本・孟校本は「此五穀踴貴之象」に作る。
- ・ 一二B―31…「呼爲逆檐洲」↓「呼爲迎檐湖」

- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「呼爲迎擔洲」に作る。
- ・ 一二B―四2…「轉相妖惑」↓「轄相妖惑」
- ・ 一二B―九〇…「遷神主于太廟」↓「遷神主於太廟」
- ・ ※張校本・孟校本・整理甲本は「遷神主於太廟」に作る。
- ・ 一二B―一2…「禮辟不就早卒▲▲」↓「禮辟不就早卒
- 明帝」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「禮辟不就早卒明帝」に作る。
- ・ 一三A―一〇〇…「調窮賑乏」↓「調窮賑之」
- ・ ※孟校本は「調窮賑乏」に作る。
- ・ 一三B―三…「長岐根」↓「長岐根」
- ・ 一四A―一1…「鼓行而進▲▲▲」↓「鼓行而進遂走漢沔」
- ・ ※張校本は「鼓行而進遂走漢沔」に作り、孟校本・整理本は「鼓行而進遂定漢沔」に作る。整理本が従う孟校本の校勘記には『宋本』に依拠して「定」に作る旨が述べられるが、影印『宋本』の状態を見る限り、俄かには断定できない。
- ・ 一四B―一…「▲王敦▲之▲王敦」↓「送王敦斬之初王敦」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「送王敦斬之初王敦」に作る。
- ・ 一四B―三…「▲有尾重之患」↓「將有尾重之患」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「將有尾重之患」に作る。
- ・ 一四B―七…「爲▲▲名將」↓「爲中興名將」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「爲中興名將」に作る。
- ・ 一五A―四…「長史謝鯤」↓「長史謝鯤」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「長史謝鯤」に作る。
- ・ 一五A―七…「遣龍驤將軍沈充」↓「遣龍驤將軍沈充」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「遣龍驤將軍沈充」に作る。
- ・ 一六B―六…「顧昞」↓「顧昞」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「顧昞」に作る。
- ・ 一六B―九…「人相知於道術」↓「八相知於道術」
- ・ 一七A―四…「阮孚」↓「阮孚」
- ・ 一七A―八…「▲問戴淵曰」↓「密問戴淵曰」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「密問戴淵曰」に作る。
- ・ 一七A―九…「豈敢有餘▲▲不足耳」↓「豈敢有餘但力不足耳」
- 足耳」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「豈敢有餘但力不足耳」に作る。
- ・ 一七A―一〇…「若思▲見形者」↓「若思曰見形者」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「若思曰見形者」に作る。
- ・ 一七A―一1…「又▲周顛曰」↓「又謂周顛曰」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「又謂周顛曰」に作る。
- ・ 一七A―一2…「卿何▲我」↓「卿何負我」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「卿何負我」に作る。

・一七B―一：「公戎車犯順▲▲不能其事」↓「公戎車犯順  
下官不能其事」

※張校本・孟校本・整理本は「公戎車犯順下官不能其事」  
に作る。

・一七B―二：「敦憚其辭正▲▲所答」↓「敦憚其辭正不知  
所答」

※張校本・孟校本・整理本は「敦憚其辭正不知所答」に  
作る。

・一七B―二：「帝召顛於廣▲」↓「帝召顛於廣室」

※張校本・孟校本・整理本は「帝召顛於廣室」に作る。

・一七B―五：「郝蝦」↓「郝蝦」

※張校本・孟校本・整理本は「郝蝦」に作る。

・一七B―五：「▲可草中求活耶」↓「寧可草中求活耶」

※張校本・孟校本・整理本は「寧可草中求活耶」に作る。

・一七B―七：「既▲帝」↓「既見帝」

※張校本・孟校本・整理本は「既見帝」に作る。

・一八B―一：「尙書左僕射」↓「尙書左僕射」

※張校本・孟校本・整理本は「尙書左僕射」に作る。

・一八B―一：「幽冀豫兗并雍六州諸軍事」↓「幽冀豫兗  
并雍六州」

・二〇A―二：「鎮南大將軍」↓「鎮南大將軍」

※張校本・孟校本・整理本は「鎮南大將軍」に作る。

・二〇B―五：「卓轉更狼復」↓「卓轉更狼復」

・二一A―一：「案▲▲▲」↓「案晉書荀」

※張校本・整理本は「案晉書荀」に作り、孟校本は「按  
晉書荀」に作る。

・二一A―四：「專輒之憊」↓「專輒之憊」

・二一A―四：「敦▲▲之」↓「敦深銜之」

※張校本・孟校本・整理本は「敦深銜之」に作る。

・二一A―七：「從討成都王▲▲▲之敗也」↓「從討成都王  
穎蕩陰之敗也」

※張校本・孟校本・整理本は「從討成都王穎蕩陰之敗也」  
に作る。

・二一A―八：「帝懼禍及▲▲▲」↓「帝懼禍及將欲出奔」

※張校本・孟校本・整理本は「帝懼禍及將欲出奔」に作る。

・二一A―九：「甚窘▲▲▲」↓「甚窘迫有頃雲霧」

※張校本・孟校本・整理本は「甚窘迫有頃雲霧」に作る。

・二一A―一〇：「先是▲▲令▲禁貴人」↓「先是穎又令關  
禁貴人」

※張校本・孟校本・整理本は「先是穎又令關禁貴人」に  
作る。

・二一A―一：「從者宋典以策▲馬」↓「從者宋典以策鞭馬」

作る。

※張校本・孟校本・整理本は「從者宋典以策鞭馬」に作る。  
・二二A―二二〔考之曆數〕↓「考之曆數」

※孟校本・整理甲本は「考之曆數」に作る。整理甲本「校注」には、清代成立の四庫全書本・陸本が「曆數」と作ることから孟校本に従う旨が記されるが、これが清乾隆帝（弘曆）の避諱に由来していることは明白である。それにそもそも『宋本』自体が張校本と同様「曆數」に作ることは言及されていない。

・二二A―七〇〔明帝元年生〕↓「明帝元年生」  
※張校本・孟校本・整理本は「明帝元年生」に作る。

### ◎卷第六・晉上〔下〕

#### ○肅宗明皇帝

・一B―一〔及王敦執政〕↓「及王敦執政」  
・二A―一〔敦下屯于湖陰〕

※整理本「校注」では陸本に従い「于湖陰」に作ると述べるが、そもそも『宋本』で「于湖陰」に作ることは言及されていない。

・二A―七〔札字宣季〕↓「札字宣」  
・二B―二〔莫過周▲〕↓「莫過周沈」  
※張校本・孟校本・整理本は「莫過周沈」に作る。

・二B―三〔▲先爲之所〕↓「宜先爲之所」

※張校本・孟校本・整理本は「宜先爲之所」に作る。

・二B―六〔廬江太守李▲〕↓「廬江太守李恒」

※張校本・孟校本・整理本は「廬江太守李恒」に作る。

・二B―七〔子姪等▲殺之〕↓「子姪等同殺之」

※張校本・孟校本・整理本は「子姪等同殺之」に作る。

・二B―九〔累遷御史中丞〕↓「累遷御史中丞」

※張校本・孟校本・整理本は「累遷御史中丞」に作る。

・二B―一〇〔嵩因上▲言〕↓「嵩因上書言」

※張校本・孟校本・整理本は「嵩因上書言」に作る。

・二B―一一〔父子尙▲反顧之義〕↓「父子尙無反顧之義」

※張校本・孟校本・整理本は「父子尙無反顧之義」に作る。

・三A―六一〔舉觴賜三▲日〕↓「舉觴賜三子曰」

※張校本・孟校本・整理本は「舉觴賜三子曰」に作る。

・三A―六二〔嵩起曰恐不▲尊▲伯仁志火〕↓「嵩起曰恐不如尊旨伯仁志大」

※張校本・孟校本・整理本は「嵩起曰恐不如尊旨伯仁志大」に作る。

・三A―一〇〔三B―一〕〔拜比陽相〕↓「拜北陽相」

・三B―七〇〔自乘巴演駿馬微行〕↓「自葉巴演駿馬微行」

・三B―一〇一〔帝母▲▲代州人〕↓「帝母□氏代州人」



- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「帝母荀氏代州人」に作る。
- ・ 三B―1〇2…故敦▲▲黃須鮮卑奴也」↓「故敦謂帝  
日黃鬚鮮卑奴也」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「故敦謂帝日黃鬚鮮卑奴也」  
に作る。
- ・ 三B―11…「賣飯嫗」↓「賣飯嫗」
- ・ 四A―1〇…「使密觀形勢」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「使密觀形勢」に作る。整  
理本「校注」では陸本が「觀」を「覘」に作る。整  
るが、実際には『宋本』・陸本共に「觀」に作る。
- ・ 四B―5…「武旅三萬」↓「武旅三千」
- ・ 四B―8…「太宰西陽三兼」↓「太宰西陽王兼」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「太宰西陽王兼」に作る。
- ・ 四B―11…「▲厚言甘」↓「幣厚言甘」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「幣重言甘」に作る。
- ・ 四B―11…「且丈夫▲事」↓「且丈夫共事」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「且丈夫共事」に作る。
- ・ 五B―8…「大破含軍於越城」↓「大破軍含於越城」
- ・ 六A―52…「於城側▲橋」↓「於城側造橋」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「於城側造橋」に作る。
- ・ 六B―11…「王舒完允之」↓「王舒字允之」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「王舒字允之」に作る。
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「王舒字允之」に作る。
- ・ 六B―4…「觀者稱慶」↓「觀者稱慶」
- ・ 七B―3…「四…憤憤不▲」↓「憤憤不平」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「憤憤不平」に作る。
- ・ 七B―9…「虎賁二十人」↓「虎賁二十人」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「虎賁二十人」に作る。
- ・ 八A―61…「2…意色無作」↓「意色無作」
- ・ ※『宋本』の六…七行目上部の欄外には、何者かによつ  
て「作」が書き込まれる。
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「意色無作」に作る。
- ・ 八A―7…「帝自南皇堂還宮」↓「帝自南皇堂還宮」
- ・ 八B―3…「四…行大▲」↓「行大祥禮」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「行大祥禮」に作る。
- ・ 九A―11…「同於所生」↓「同其所生」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「同其所生」に作る。
- ・ 九B―4…「▲皇子衍」↓「立皇子衍」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「立皇子衍」に作る。
- ・ 九B―6…「虞喜▲爲博士」↓「虞喜並爲博士」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「虞喜並爲博士」に作る。
- ・ 九B―6…「旭字次龍」↓「旭字次龍」
- ・ ※張校本・孟校本・整理本は「旭字次龍」に作る。

・九B―一―「同召之」

※整理本「校注」では陸本と四庫全書本に従い「召」に作ると述べるが、そもそも『宋本』で「召」に作ることは言及されていない。

・九B―一―一〇A―一―「其命惟新可令」↓「其命維新

可令」

※張校本・孟校本・整理本は「其命惟新可令」に作る。

・一〇A―七―八―「迎梓宮未至」↓「迎梓宮未至」

※張校本・孟校本・整理本は「迎梓宮未至」に作る。

・一〇A―八―九―「墜馬死五月」↓「墜馬死五月」

※張校本・孟校本・整理本は「墜馬死五月」に作る。

・一〇B―一―「太子庶子」↓「太子庶衍」

※「衍」の右横に「子」が書き加えられ修正される。

・一一A―二―一―二―「廟號肅祖帝聰明有機斷」↓「廟號肅

宗帝聰明有機斷」

※張校本・孟校本・整理本は「廟號肅宗帝聰明有機斷」

に作る。

・一一A―二―二―「死疫過▲」↓「死疫過半」

※張校本・孟校本・整理本は「死疫過半」に作る。

・一一A―三―一―「震王之威」↓「震主之威」

※張校本・孟校本・整理本は「震主之威」に作る。

・一一A―三―二―「撥亂反正」↓「撥亂反正」

※張校本・孟校本・整理本は「撥亂反正」に作る。

・一一A―四―二―「遠▲」↓「遠矣」

※張校本・孟校本・整理本は「遠矣」に作る。

### ◎卷第七・晉中〔上〕

#### ○顯宗成皇帝

・一A―九―一〇―「爲▲史」↓「爲長史」

※張校本・孟校本・整理本は「爲長史」に作る。

・一A―一〇―二―「夜徑」↓「夜竟」

※張校本・孟校本・整理本は「夜竟」に作る。

・一A―一―二―「浮酒地中」↓「浮酒池中」

※張校本・孟校本・整理本は「浮酒池中」に作る。

・一B―九―「刑政清明」↓「刑清政明」

※張校本・孟校本・整理本は「刑清政明」に作る。

・二A―六―「奏貶」↓「貶奏」

※張校本は「貶奏」に作る。

・二A―一〇―「新徐」↓「新除」

※張校本・孟校本・整理本は「新除」に作る。

・二B―三―「復爲所司彈劾」↓「後爲所司彈劾」

・三B―一〇―一―「陳圖」↓「陣圖」

・三B―1〇1〕2〕「晉所謂王師敗於陵西」↓「峻所謂王師敗於陵西」

※「峻」の右横に「晉」が書き加えられ修正される。

・五A―三〕「二子」↓「三」

・五A―七〕「祐兄孫也」↓「祐兄孫也」

・五A―一1〕「胡母輔之」↓「湖母輔之」

・五B―1〕「日晏則漸罄」↓「日晏而漸罄」

※張校本・孟校本・整理本は「日晏而漸罄」に作る。

・五B―12〕「猶獲盛饌論者」↓「猶獲盛饌今論者」

・五B―7〕「帝坐」↓「帝座」

※張校本・孟校本・整理本は「帝座」に作る。

・六A―9〕「管商」↓「管商」

※張校本・孟校本・整理本は「管商」に作る。

・六B―1〕「次于蔡洲」

※張校本・孟校本・整理本は「次于蔡州」に作る。整理

本「校注」では陸本と四庫全書本が「蔡洲」に作ると

述べるが、そもそも『宋本』で「蔡洲」に作ることに

は言及されていない。

・六B―9〕「蘇峻湖」↓「蘇峻湖」

※張校本・孟校本・整理本は「蘇峻湖」に作る。

・七A―1〕「將軍鼓自鳴如人弄槌」↓「將軍鼓自鳴如人弄槌」

※張校本・孟校本・整理本は「將軍鼓自鳴如人弄槌」に作る。

・七A―41〕「人神所憤」↓「人神所憤」

※張校本・孟校本・整理本は「人神共憤」に作る。

・七A―6〕「糾合」↓「糾合」

・七A―11〕「封邵陵公」↓「封郡陵公」

・九A―6〕「京都震肅」↓「京師震肅」

・1〇A―7〕「朝廷」↓「朝楚」

・1〇B―3〕「牛渚磯」↓「牛渚」

・11A―1〕「送豚一頭」↓「遂豚一頭」

・11A―41〕「地在宋樂遊苑西」↓「地在宋樂遊苑而」

・11A―5〕6〕「使鎮武昌」↓「使鎮武昌」

※張校本・孟校本・整理本は「使鎮武昌」に作る。

・11A―8〕「便用爲宰相乎」↓「即用爲宰相乎」

※張校本・孟校本・整理本は「即用爲宰相乎」に作る。

・11A―92〕「河内淮人」↓「河南淮人」

・11B―91〕「南最西曰陵陽門」↓「南面三門最西曰陵陽門」

陽門

※『宋本』では「南」と「最」の右横に何者かによって

「面三門」が補われる。

※張校本・孟校本・整理本は「南面三門最西曰陵陽門」

に作る。

・一 B―九 2 ・・「本吳所開」↓「木吳所開」

・二 A―一 1 ・・「東通清溪」↓「東道清溪」

※「道」の右横に「甬」が書き加えられ、「通」に修正する意が示される。

※孟校本・整理本は『宋本』や清・甘元煥鈔本に拠って「東通清溪」に作るとしているが、少なくとも『宋本』では「逼」とは判読できず、同行の下部に見える「潤州驛」の「通」と同様の字形となっている。

・二 A―一 1 ・・「青溪通潤州驛」↓「清溪通潤州驛」

※張校本・孟校本・整理本は「橋渡青溪通潤州驛」に作る。

・二 A―二 2 ・・「門墻互有修改」↓「門墻則互有修改」

※張校本は「門墻互有修改」に作る。整理本「校注」では孟校本・四庫全書本・陸本に従って「互」に作るが、そもそも『宋本』で「互」に作ることは言及されていない。

・二 A―四 ・・「天下大飢」↓「天下大饑」

※張校本・孟校本・整理本は「天下大饑」に作る。

・二 A―六 ・・「王公已下」↓「王公以下」

※張校本・孟校本・整理本は「王公以下」に作る。

・二 A―一 1 ・・「江州刺史觀陽侯應詹卒」↓「江州

刺史應詹卒」

・二 B―二 ・・「何劭」↓「何邵」

※孟校本は「何邵」に作る。

・二 B―三 ・・「南平太守」↓「太守南平」

・二 B―一 1 ・・▲情好勸勵▲朝廷」↓「申情好勸勵力朝廷」

※張校本・孟校本・整理本は「申情好勸勵力朝廷」に作る。

・三 A―五 ・・「新野襄陽」↓「新野上陽」

・三 A―一 0 2 ・・「出都城門陽門正東面東掖門」↓「出都城門陽門正東而東掖門」

城門陽門正東而東掖門」

※張校本・孟校本・整理本は「出都城開陽門正東面東掖門」に作る。

・三 B―三 2 ・・「自晉至陳遂廢」↓「自晉自陳遂廢」

・三 B―三 ・・「帝遷于新宮」↓「帝遷於新宮」

・四 A―三 ・・「于寶」↓「于寶」

・四 A―六 1 ・・「少愛山水」↓「少好山水」

※張校本・孟校本・整理本は「少好山水」に作る。

・四 A―七 1 ・・「竟無所患」↓「竟無所害」

※張校本・孟校本・整理本は「竟無所害」に作る。

・四 A―九 2 ・・「使迎至京師」↓「便迎至京師」

・四 A―一 0 1 ・・「温嶠嘗問」↓「温嶠常問」

・四 A―一 1 ・・「又曰先生獨處窮山」↓「人曰先生獨處

窮山

・一四B―三I…「座下」↓「座中」

※張校本・孟校本・整理本は「座中」に作る。

・一四B―三2…「詩著地爛」↓「諸著地爛」

※「諸」の右横に「寺」が書き加えられ、「詩」に修正する意が示される。

・一四B―七…「二月」↓「三月」

・一五A―一〇…「吾宜還▲卿等誰能忍飢鬪邪」↓「吾宜還

城鄉等誰能忍饑鬪邪」

※張校本・孟校本・整理本は「吾宜還城鄉等誰能忍饑鬪

邪」に作る。

・一五A―一一…「部將吳寄曰要▲▲日▲飢」↓「部將吳寄

曰要欲十日忍饑」

※張校本・孟校本・整理本は「部將吳寄曰要欲十日忍饑」

に作る。

・一五B―一…「侃曰卿健▲也」↓「侃曰卿健將也」

※張校本・孟校本・整理本は「侃曰卿健將也」に作る。

・一五B―一〇…「作梗」↓「在梗」

※「在」の右横に「作」が書き加えられ修正される。

・一六A―九…「諸參佐或▲談戲廢事者」↓「諸參佐或以談  
戲廢事者」

※張校本・孟校本・整理本は「諸參佐或以談戲廢事者」  
に作る。

・一六A―一〇…「蒯博之▲▲▲之▲江中」↓「蒯博之具悉

投之於江中」

※張校本・孟校本・整理本は「蒯博之具悉投之於江中」  
に作る。

・一六A―一一…「老莊浮華非▲▲之▲言」↓「老莊浮華非

先王之法言」

※張校本・孟校本・整理本は「老莊浮華非先王之法言」  
に作る。

・一六B―一…「何有亂▲蓬首」↓「何有亂頭蓬首」

※張校本・孟校本・整理本は「何有亂頭蓬首」に作る。

・一六B―二…「皆問其所由」↓「皆問其所由」

※張校本・孟校本・整理本は「皆問其所由」に作る。

・一六B―二…「慰▲三倍」↓「慰賜三倍」

※張校本・孟校本・整理本は「慰賜三倍」に作る。

・一六B―三…「若非理者」

※孟校本・整理本・陸本は「若非理者」に作り、張校本

は「若非禮者」に作る。整理本「校注」では孟校本・

四庫全書本・陸本に従って「理」に作るが、そもそも  
『宋本』で「理」に作ることは言及されていない。

・一六B―五…「而戲賊人稻」↓「而戲盜人稻」

・一六B―一〇…「庾元規乃拜陶士衡耶」↓「庾亮規乃拜陶

士衡耶」

※張校本・孟校本・整理本は「庾元規乃拜陶士衡耶」に作る。

・一七A―五…「頗類趙廣漢」↓「頗類趙廣漢」

※張校本・孟校本・整理本は「頗類趙廣漢」に作る。

・一七B―六…「握彊兵」↓「握彊兵」

※張校本・孟校本・整理本は「握彊兵」に作る。

・一七B―八〇…「恤孤寡貶費節用」↓「恤孤寡費節用」

※「寡」の右下に「貶」が補われる。

・一七B―一一…「白璇」↓「白璇」

・一八A―四…「二月甲子」↓「二月」

※「月」の右下に「甲子」が補われる。

・一八A―一〇…「時帝幼冲」↓「時帝幼冲」

※張校本・孟校本・整理本は「時帝幼冲」に作る。

・一八B―一一…「詔乘馬晝日而行」↓「詔乘馬晝日而行」

張校本・孟校本・整理本は「詔乘馬晝日而行」

日而行」に作る。

・一九B―八…「不堪▲騎」↓「不堪乘騎」

※張校本・孟校本・整理本は「不堪乘騎」に作る。

・一九B―一一…「執事庾▲下議」↓「執事庾冰不議」

※張校本・孟校本・整理本は「執事庾冰下議」に作る。

・二〇B―七…「由是」↓「由」

※「由」の右下に「是」が補われる。

・二〇B―九…「帝嘗從容謂導曰」↓「帝嘗從容謂導曰」

・二一A―一一…「上下有小石子」↓「上下有小吳子」

・二一B―一二…「反開善寺誌公履也」↓「反開善寺諸公履也」

※孟校本・整理本は「及開善寺誌公履也」に作る。

・二二A―九二〇一…「導有六子悦怡洽協劬會」↓「導

有六子悦怡洽協劬會」

※張校本・整理本は「導有六子悦怡洽協劬會」に作る。

・二二A―一一一…「使郭璞筮之卦成曰」↓「使郭璞筮之曰」

※張校本・孟校本・整理本は「使郭璞筮之曰」に作る。

・二二B―二…「侍中太尉南昌公郗鑒薨」↓「侍中太尉南昌公郗

鑒薨」

・二二B―四…「吟詠不倦」↓「吟詠不倦」

※孟校本は「吟詠不倦」に作る。

・二二B―九…「京都」↓「京城」

※「城」の右横に「都」が書き加えられ修正される。

・二三A―五一…「在鄉里甚窮餒」↓「在鄉里甚窮絀」

・二三A―五一…「外甥周翼」↓「外孫周翼」

※張校本・整理本は「外孫周翼」に作る。

・二三A―五2…「各自飢困」↓「各自饑困」

・二三A―六〇七…「始用博壘宮城」↓「始用博壘宮城」

※張校本・孟校本・整理本は「始用博壘宮城」に作る。

・二三A―七1〇2…「太上御名」↓「今上御名」

※張校本・孟校本・整理本は「構」に作る。

・二三A―一〇1〇2…「太上御名」↓「今上御名」

※張校本・孟校本・整理本は「構」に作る。

・二三A―一〇〇…「匠石先居其下」↓「匠石先居其下」

・二三B―三〇四…「荊督江荊豫益梁雍六州諸軍事」↓「都

督江荊豫益梁雍六州諸軍事」

※張校本・孟校本・整理本は「都督江荊豫益梁雍六州諸

軍事」に作る。

・二三B―六…「善談論」↓「美談論」

・二三B―一一…「由是娉其妹爲皇太子妃」↓「由是娉其妹

爲太子妃」

※張校本・孟校本・整理本は「由是娉其妹爲皇太子妃」

に作る。

・二四A―一〇…「其故何邪」↓「其故何耶」

※張校本・孟校本・整理本は「其故何耶」に作る。

・二四B―八〇九…「仍脩石頭以備之」↓「仍修石頭以備之」

※張校本・孟校本・整理本は「仍修石頭以備之」に作る。

・二五A―一七…「君侯脩石頭」↓「君侯修石頭」

※張校本・孟校本・整理本は「君侯修石頭」に作る。

・二五A―一七…「今日反見求邪」↓「今日反見求耶」

※張校本・孟校本・整理本は「今日反見求耶」に作る。

・二五A―一一…「不宜數爾峻平後」↓「不宜數爾峻平後」

※張校本・孟校本・整理本は「不宜數爾峻平後」に作る。

・二五B―四…「江荊豫三州刺史」↓「江荊豫三州遷史」

※「遷」の右横に「刺」が書き加えられ修正される。

・二五B―六…「戍邾城」↓「戍邾城」

・二六A―一七…「父父」↓「父人」

・二六B―二一…「父字弘理」↓「又字弘理」

・二六B―二二…「王羲之月之曰」↓「王羲之□之曰」

※張校本・孟校本・整理本は「王羲之目之曰」に作る。

・二六B―三一…「杜父」↓「杜又」

・二八A―一…「孜益歎息」↓「孜益歎息之」

※張校本・孟校本・整理本は「孜益歎息之」に作る。

・二八A―一一…「肆爾王公卿士其輔之」↓「肆爾王公卿士

其輔之」

※張校本・孟校本・整理本は「肆爾王公卿士其輔之」に

作る。

・二八B―一…「會稽王昱」中書監」↓「會稽王昱中書監」

※張校本・孟校本・整理本は「會稽王昱中書監」に作る。

・二八B―三…「鷄籠山陽與元帝同處」↓「鷄籠山陽元與帝

同處」

・二八B―一〇…「一…」儉恭之德▲追蹤於往烈矣」↓「儉

恭之德足追蹤於往烈矣」

※張校本・孟校本・整理本は「儉恭之德足追蹤于往烈矣」

に作る。

### ◎卷第八〔晉中〕

#### ○康皇帝

・一A―一〇…「諸屯戍」↓「諸屯戍」

※張校本・孟校本は「詔屯戍」に作る。

・一B―二…三…「徒行至閭闔門升素輿」↓「徒行至閭闔升

門素輿」

・一B―三…「至陵」▲」↓「至陵所」

※張校本・孟校本・整理本は「至陵所」に作る。

・一B―八…「斬獲八萬餘人」↓「斬獲八十餘人」

※張校本・孟校本・整理本は「斬獲八千餘人」に作る。

・一B―一…「帥衆入臨淮」↓「率衆入臨淮」

※張校本・孟校本・整理本は「率衆入臨淮」に作る。

・二A―一〇…「既而歎曰▲有吉凶」↓「既而歎曰如有吉凶」

※張校本・孟校本・整理本は「既而歎曰如有吉凶」に作る。

#### ○孝宗穆皇帝

・二B―七…「時兄▲▲名德流訓」↓「時兄亮以名德流訓」

※張校本・孟校本・整理本は「時兄亮以名德流訓」に作る。

・二B―一…「冰兄亮既固辭不入」↓「冰凡亮既固辭不入」

・四A―三…「混便止」↓「混便正」

・四A―八…九…「請洋爲中典軍」↓「請洋爲中興軍」

・四A―九…「洋曰▲赤如丹血丸丸」↓「洋曰地赤如丹血丸丸」

※張校本・孟校本・整理本は「洋曰地赤如丹血丸丸」に

作る。

・四A―一…「何如入湖」↓「何如入湖」

・四B―二…「鎮武昌引▲問氣候」↓「鎮武昌引洋問氣候」

※張校本・孟校本・整理本は「鎮武昌引洋問氣候」に作る。

・四B―一…「今年受死問昨朝大霧晏風」↓「今年受死問昨朝大霧晏風」

年受死問昨朝大霧晏風」

※張校本・孟校本・整理本は「今年受死問昨朝大霧晏風」

に作る。

・五A―四…「亮▲不能解二州」↓「亮竟不能解二州」

※張校本・孟校本・整理本は「亮竟不能解二州」に作る。

・五A―五…「許賽其▲」↓「許賽其牛」



※張校本・孟校本・整理本は「許賽其牛」に作る。

・五A―六…「亮▲▲之」↓「亮曰有之」

※張校本・孟校本・整理本は「亮曰有之」に作る。

・五B―一…「憎家雞」↓「憎家鷄」

※張校本は「憎家鷄」に作る。

・五B―二…「常見殷浩杜▲▲」↓「常見殷浩杜又曰」

※張校本・孟校本・整理本は「常見殷浩杜又曰」に作る。

・六A―二…「行經餘不亭見籠龜」↓「行經餘不亭見籠龜」

※張校本・孟校本・整理本は「行經餘不亭見籠龜」に作る。

・六A―八…「處此▲者」↓「處此官者」

※張校本・孟校本・整理本は「處此官者」に作る。

・六A―一〇…「愉年及▲車」↓「愉年及懸車」

※張校本・孟校本・整理本は「愉年及懸車」に作る。

・六B―一…「二百餘頃皆成▲▲▲▲郡三年」↓「二百餘頃皆

成□□在郡三年」

※張校本・孟校本・整理本は「二百餘頃皆成良業在郡三

年」に作る。

・六B―二…「地爲宅草堂數間▲棄官居之」↓「地爲宅草堂

數間便棄官居之」

※張校本・孟校本・整理本は「地爲宅草堂數間便棄官居

之」に作る。

・六B―三…「病篤遺令歛▲服」↓「病篤遺令歛時服」

※張校本・孟校本・整理本は「病篤遺令歛時服」に作る。

・六B―四1…「案晉書▲有三子」↓「案晉書愉有三子」

※張校本・整理本は「案晉書愉有三子」に作り、孟校本

は「按晉書愉有三子」に作る。

・六B―四1…「孝武帝亦▲侍中」↓「孝武帝亦至侍中」

※張校本・孟校本・整理本は「孝武帝亦至侍中」に作る。

・六B―四2…「帝崩服▲涕泗」↓「帝崩服續涕泗」

※張校本・孟校本・整理本は「帝崩服續涕泗」に作る。

・六B―五1…「愉弟▲字敬林」↓「愉弟羣字敬林」

※張校本・孟校本・整理本は「愉弟羣字敬林」に作る。

・六B―五2…「即▲爛群▲▲▲▲不見肉」↓「即糜爛羣答曰

公不見肉」

※張校本・孟校本・整理本は「即糜爛羣答曰公不見肉」

に作る。

・六B―六2…「麴藥事」↓「麴藥事」

※張校本・整理本は「麴藥事」に作る。

・六B―七…「都督揚州諸軍事揚州刺史」↓「都督揚州

諸軍事揚州刺史」

※張校本・整理本は「都督揚州諸軍事揚州刺史」に作る。

・七A―二…「由是忤意」↓「是由忤意」

・七A―四…「黄門侍郎」↓「黄門侍中」

※「中」の右横に「郎」が書き加えられ修正される。

・七A―六…「有萬夫之▲」↓「有萬夫之望」

※張校本・孟校本・整理本は「有萬夫之望」に作る。

・七B―二…「朕嗣鴻業二君之力」↓「朕嗣鴻二君之力」

・八A―二…「阮裕常戲之曰」↓「阮裕嘗戲之曰」

※張校本・孟校本・整理本は「阮裕嘗戲之曰」に作る。

・八A―八…「領司徒」↓「領尙書」

※「尙書」の右横に「司徒」が書き加えられ修正される。

・八A―九…「▲平公張駿薨」↓「西平公張駿薨」

※張校本・孟校本・整理本は「西平公張駿薨」に作る。

・八A―一〇…「爲安西▲軍荊州刺史」↓「爲安西將軍荊州

刺史」

※張校本・孟校本・整理本は「爲安西將軍荊州刺史」に

作る。

・八A―一一…「問於衆曰比何如人」↓「問於衆曰此何如人」

※張校本・孟校本・整理本は「問於衆曰此何如人」に作る。

・八A―一一…「或▲▲可謂荆楚之杞梓」↓「或答曰可謂荆

楚之杞梓」

※張校本・孟校本・整理本は「或答曰可謂荆楚之杞梓」

に作る。

・八B―一…「江海之▲▲▲▲楚而已」↓「江海之琳琅豈

惟荊州楚而已」

※張校本・孟校本・整理本は「江海之琳琅豈惟荊州楚而

已」に作る。

・八B―一…「含字君▲桂陽人」↓「含字君章桂陽人」

※張校本・孟校本・整理本は「含字君章桂陽人」に作る。

・八B―二…「叔母▲▲所▲好學」↓「叔母朱氏所□好學」

※張校本・孟校本・整理本は「叔母朱氏所養好學」に作る。

・八B―三…「朱氏曰夢▲▲▲▲文章」↓「朱氏曰夢吞五色

此文章」

※張校本・孟校本・整理本は「朱氏曰夢吞五色此文章」

に作る。

・八B―四…「白雀樓▲十一月」↓「白雀樓堂十一月」

※張校本・孟校本・整理本は「白雀樓堂十一月」に作る。

・八B―五…「伐蜀」↓「代蜀」

・八B―八…「林邑范文政陷日南」↓「林邑范文政陷日南」

※張校本・孟校本・整理本は「林邑范文政陷日南」に作る。

・九A―一…「會稽王導子」↓「會稽王道子」

※張校本・孟校本・整理本は「會稽王道子」に作る。

・九A―九…「▲會稽▲▲」↓「遷會稽内史」

※張校本・孟校本・整理本は「遷會稽内史」に作る。

・九A―一〇…「清風朗月▲酒永懷」↓「清風朗月舉酒永懷」

※張校本・孟校本・整理本は「清風朗月舉酒永懷」に作る。

・九A―一一…「遂託跡▲永興▲宗連徵」↓「遂託跡居永興

肅宗連徵」

※張校本・孟校本・整理本は「遂託跡居永興肅宗連徵」

に作る。

・九B―三…「悉皆是給既▲」↓「悉皆是給既成」

※張校本・孟校本・整理本は「悉皆是給既成」に作る。

・九B―七…「臯屯」↓「屯臯」

※張校本・孟校本・整理本は「臯屯」に作る。

・一〇A―三…「周撫▲朱燾」↓「周撫使朱燾」

※張校本・孟校本・整理本は「周撫使朱燾」に作る。

・一〇A―一〇…「固辭請居藩」↓「固辭居請藩」

・一〇A―一一…「鎮京□」↓「鎮涼□」

※「涼」の右横に「京」が書き加えられ修正される。

・一〇B―一一…「累遷位拜▲工」↓「累遷位

拜□工」

※張校本・孟校本・整理本は「累遷位拜司空」に作る。

・一一A―三…四…「以司徒▲▲數召不至」↓「以司徒稱疾

數召不至」

※張校本・孟校本・整理本は「以司徒稱疾數召不至」に

作る。

・一一A―六…「尚曰」↓「謝曰」

※孟校本は「謝曰」に作る。

・一一A―七一…「就賜凡杖」↓「就賜几杖」

※張校本・孟校本・整理本は「就賜几杖」に作る。

・一一A―一一…「一B―一…「脩復山陵」↓「修復山陵」

※張校本・孟校本・整理本は「修復山陵」に作る。

・一一B―四…五…「脩衛五陵」↓「修衛五陵」

※張校本・孟校本・整理本は「修衛五陵」に作る。

・一一B―九…「登三臺助戊」↓「登三臺助戊」

・一一A―一…「與蔣軒謀」↓「蔣與幹謀」

※張校本・孟校本・整理本は「與蔣幹謀」に作る。

・一一A―四…五…「璽入▲▲趙」↓「璽入蜀僞趙」

※張校本・孟校本・整理本は「璽入屬僞趙」に作る。

・一一A―九…「脩復五陵」↓「修復五陵」

※張校本・孟校本・整理本は「修復五陵」に作る。

・一一A―一一…「一B―一…「桓溫伐關中」↓「桓溫代關中」

・一一B―二…「前秦符健子婁」↓「前秦符健太子婁」

※張校本・整理本は「前秦符健子婁」に作る。

・一一A―四…「鑒曰正此佳婿」↓「鑒曰此正佳婿」

※張校本・孟校本・整理本は「鑒曰此正佳婿」に作る。

- ・一三A―八：「止浩北伐」↓「止浩北伐」
- ※張校本・孟校本・整理本は「止浩北伐」に作る。
- ・一三A―九：「言▲▲人」↓「言古聖人」
- ※張校本・孟校本・整理本は「言古聖人」に作る。
- ・一三A―一〇：「勸諸▲守合肥」↓「勸諸軍守合肥」
- ※張校本・孟校本・整理本は「勸諸軍守合肥」に作る。
- ・一三A―一一：「須立根勢然▲▲未晚」↓「須立根勢然  
後舉謀未晚」
- ※張校本・孟校本・整理本は「須立根勢然後舉謀未晚」  
に作る。
- ・一三B―一：「及爲會稽▲▲▲江」↓「及爲會稽□□□江」
- ※「□□□」の右横に朱筆で「初渡浙」が補われる。
- ※張校本・孟校本・整理本は「及爲會稽初渡浙江」に作る。
- ・一三B―二：「李充支▲▲▲東土」↓「李充支通□□東土」
- ※「□□□」の右横に朱筆で「皆居」が補われる。
- ※張校本・孟校本・整理本は「李充支通並居東土」に作る。
- ・一三B―三：「會稽山陰之▲▲」↓「會稽山陰之蘭亭」
- ※張校本・孟校本・整理本は「會稽山陰之蘭亭」に作る。
- ・一三B―八：「道士曰爲寫道德經」↓「道士曰爲寫道德經」
- ※張校本・孟校本・整理本は「道士曰爲寫道德經」に作る。
- ・一四A―七：「足下答家兄書」↓「足下書家兄書」
- ※「足下書」の「書」の右横に「答」が書き加えられ修  
正される。
- ・一四B―一：「謂諸子曰」↓「謂諸子」
- ・一四B―三：「遂任▲弋釣」↓「遂任性弋釣」
- ※張校本・孟校本・整理本は「遂任性弋釣」に作る。
- ・一五A―四：「兵曹參軍」↓「兵曹將軍」
- ※「將」の右横に「參」が書き加えられ修正される。
- ・一五B―二：「▲之曰」↓「徽之曰」
- ※張校本・孟校本・整理本は「徽之曰」に作る。
- ・一五B―二（三）：「嘗與▲獻之共讀高士傳」↓「嘗與弟獻  
之共讀高士傳」
- ※張校本・孟校本・整理本は「嘗與弟獻之共讀高士傳」  
に作る。
- ・一五B―八：「今君與弟算俱盡」↓「今君俱弟算俱盡」
- ※張校本・孟校本・整理本は「今君與弟算俱盡」に作る。
- ・一五B―一一：「宋本」と同様、「朝臣畢」で終える。
- ・一六A（B）：「宋本」と同様、一葉分を欠き、その代わり  
に白紙が挿入される。
- ※張校本・孟校本・整理本には「朝臣畢」以下の「集問  
楨之」↓「一坐皆悅」の三五字分（一六A冒頭部分）と、  
「一坐皆悅」以下の「原闕」とされる部分を挟んで「謝

尙字仁祖」→「尙號咷極哀既」の九〇字分（一六B末尾部分）が多く存在し、これら一二五字分が第一六葉の残存文字であったことになる。なお孟校本は「一坐皆悦」→「謝尙字仁祖」の間の欠落字数を二五八字とするが、一葉当たり四四〇字程度であるから、欠落字数は三二五字程度となり、字数が合わない。或いは改行による空格を想定するものか。

- ・一七A―一…『宋本』と同様、「而収涕告訴」で始まる。
- ・一七A―七〇八…「當以鼓吹相賞」→「當以鼓吹相賞」
- ・一七A―八…「即以副鼓吹給之」→「即以副鼓吹給之」
- ・一七B―二一〇二…「尙嘗夢其▲告之曰」→「尙嘗夢其父告之曰」

告之曰

- ※張校本・孟校本・整理本は「尙嘗夢其父告之曰」に作る。
- ・一七B―二二…「汝宜脩福」→「汝宜修福」
- ※張校本・孟校本・整理本は「汝宜修福」に作る。
- ・一七B―四一…「闔門獲全」→「闔門獲全」
- ・一七B―一…「伏飛督王▲獻鳩鳥」→「伏飛督王饒獻鳩鳥」
- ※張校本・孟校本・整理本は「伏飛督王饒獻鳩鳥」に作る。
- ・一八A―四…「温逃酒入主門」→「温逃酒入主門」
- ・一九A―一〇…「再見于豊城」→「再見於豊城」
- ・一九B―九一〇二…「在鷄籠山之揚」→「在鷄籠山之陽」

※張校本・孟校本・整理本は「在鷄籠山之陽」に作る。

・一九B―一〇一〇二…「唯孝▲一陵」→「唯孝宗一陵」

○哀皇帝

・二〇A―八…「幼沖」→「幼沖」

※張校本・孟校本・整理本は「幼沖」に作る。

・二〇B―二二…「以地爲隸射宮也」→「以地爲隸射宮也」

※張校本・孟校本・整理本は「以地爲隸射宮也」に作る。

・二〇B―九…「西中郎將▲眞」→「西中郎將□眞」

※張校本・孟校本・整理本は「西中郎將眞」に作る。

・二一A―一…「以下江左興亡」→「以下興亡江左」

・二一B―一〇二…「康帝建元末」→「康帝建元米」

・二二A―九〇…「向使作令射」→「向使作令□」<sup>3)</sup>

※張校本・孟校本・整理本は「向使作令僕」に作る。

・二二A―一〇…「足以儀形百揆」→「足以儀刑百揆」

※張校本・孟校本・整理本は「足以儀型百揆」に作る。

・二二A―一〇〇…「浩雖放黜」→「浩雖放出」

※「出」の右横に「黜」が書き加えられ修正される。

・二三A―六…「入于天市」→「入于帝市」

※「帝」の右横に「天」が書き加えられ修正される。

・二三A―一〇…「帝親耕藉田」→「帝親耕藉田」

※張校本・孟校本・整理本は「帝親耕籍田」に作る。

・二三A―一〇〔一〕：「大開▲人」↓「大開戸人」

※張校本・孟校本・整理本は「大閩戸人」に作る。

・二三B―三〔西中郎袁眞〕↓「中郎袁眞」

※張校本は「中郎將袁眞」に作り、孟校本・整理本は「西

中郎將袁眞」に作る。

・二三B―六〔詔移陶宮於淮水北〕↓「詔陶移公於淮水北」

※「公」の右横に「宮」が書き加えられ修正される。

※張校本・孟校本・整理本は「詔移陶官於淮水北」に作る。

・二四A―五〔商略〕↓「商略」

※張校本・孟校本・整理本は「商略」に作る。

・二四A―九〔會稽王▲▲也〕↓「會稽王癡克癡也」

※張校本・孟校本・整理本は「會稽王癡克癡也」に作る。

・二四A―一〔▲▲擗哭久之〕↓「因擗哭久之」

※張校本・孟校本・整理本は「因擗哭久之」に作る。

・二四B―五〔鷄籠山之陽▲帝同處〕↓「鷄籠山之陽元帝

同處」

※張校本・孟校本・整理本は「鷄籠山之陽元帝同處」に

作る。

### ○廢皇帝

・二五A―八〔桓溫▲江夏相朱序討平之〕↓「桓溫使江夏

相朱序討平之」

※張校本・孟校本・整理本は「桓溫使江夏相朱序討平之」

に作る。

・二五B―七〔人謂之癡〕↓「人謂癡之」

・二五B―一〔王掾〕↓「王掾」

・二六A―一〔一坐莫不贊美〕↓「一坐莫不贊歎美」

・二六A―一〔述正色曰人非▲▲〕↓「述正色曰人非堯舜」

※張校本・孟校本・整理本は「述正色曰人非堯舜」に作る。

・二六A―七〔但克讓自▲▲〕↓「但克讓自取美」

※張校本・孟校本・整理本は「但克讓自取美」に作る。

・二六A―八〔▲▲之爲桓溫長史〕↓「後坦之爲桓溫長史」

※張校本・孟校本・整理本は「後坦之爲桓溫長史」に作る。

・二六A―九〔坦之還家▲▲父〕↓「坦之還家省父」

※張校本・孟校本・整理本は「坦之還家省父」に作る。

・二六A―一〇〔坦之因言▲▲意〕↓「坦之因言溫意」

※張校本・孟校本・整理本は「坦之因言溫意」に作る。

・二六A―一〔詎可畏溫面以女▲▲兵也〕↓「詎可畏溫面

以女妻兵也」

※張校本・孟校本・整理本は「詎可畏溫面以女妻兵也」

に作る。

・二六B―一〔此尊君不肯爾▲▲止〕↓「此尊君不肯爾遂止」

※張校本・孟校本・整理本は「此尊君不肯爾遂止」に作る。

・二六B―二…「而脩家▲爲州▲所驗」↓「而脩家具爲州司

所驗」

※張校本・孟校本・整理本は「而修家具爲州司所驗」に作る。

・二六B―三…「名父之子不▲無祿」↓「名父之子不患無祿」

※張校本・孟校本・整理本は「名父之子不患無祿」に作る。

・二七A―八…「設伏所破而▲」↓「設伏所破而還」

※張校本・孟校本・整理本は「設伏所破而還」に作る。

・二七A―八〇九…「又追敗温後軍於襄邑」↓「又追敗後軍

於襄邑」

・二七A―九…「大星西流」↓「大星西流」

※張校本・孟校本・整理本は「大星西流」に作る。

・二七A―九…「以壽陽▲」↓「以壽陽叛」

※張校本・孟校本・整理本は「以壽陽叛」に作る。

・二七A―一…「將謀▲」↓「將謀後舉」

※張校本・孟校本・整理本は「將謀後舉」に作る。

・二七A―一…「十二月▲廣陵而居之」↓「十二月城廣陵

而居之」

※張校本・孟校本・整理本は「十二月城廣陵而居之」に作る。

・二七B―一…「袁真▲▲郡太守朱輔」↓「袁真死陳郡太守

朱輔」

※張校本・孟校本・整理本は「袁真死陳郡太守朱輔」に作る。

・二七B―二…「屠▲▲臯袁瑾等首」↓「屠壽陽臯袁瑾等首」

※張校本・孟校本・整理本は「屠壽陽臯袁瑾等首」に作る。

・二七B―三…「足以雪枋頭之恥▲」↓「足以雪枋頭之恥乎」

※張校本・孟校本・整理本は「足以雪枋頭之恥乎」に作る。

・二七B―四…「敗於大▲」↓「敗於大舉」

※張校本・孟校本・整理本は「敗於大舉」に作る。

・二七B―五…「温▲信焉」↓「温懷信焉」

※張校本・孟校本・整理本は「温懷信焉」に作る。

・二八A―八…「陛下有出宮之象」↓「陛下有出宮之象」

※張校本・孟校本・整理本は「陛下有出宮之象」に作る。

・二八A―九…「縊殺之▲於▲黃門署北」↓「縊殺之葬於黃門

署北」

※張校本・孟校本・整理本は「縊殺之葬於黃門署北」に作る。

・二八A―一〇…「又降爲海西懸公▲居」↓「又降爲海西縣

公徙居」

※張校本・孟校本・整理本は「又降爲海西縣公徙居」に

作る。

・二八B―四：「然憚帝守道恐招時議」↓「然憚帝守道恐招時議」

時議」

※張校本・孟校本・整理本は「然憚帝守道恐招時議」に作る。

・二八B―五：「夙有▲疾」↓「夙有痿疾」

※張校本・孟校本・整理本は「夙有痿疾」に作る。

・二八B―七：「溫▲具事奏」↓「溫因具事奏」

※張校本・孟校本・整理本は「溫因具事奏」に作る。

・二八B―七：「在佛堂讀經」↓「在佛堂誦經」

・二八B―九：「索筆答奏云」↓「索筆答云」

※張校本・孟校本・整理本は「索筆答云」に作る。

・二八B―一：「悚動汗流」↓「竦動汗流」

※張校本・孟校本・整理本は「竦動汗流」に作る。

・二九A―二：「刁彝」↓「刁彝」

### ○太宗簡文皇帝

・二九B―九：「使兼太▲」□□□□□□□□□□↓「使兼太尉

尉□□□□□□□□□□」

※張校本・孟校本・整理本は「使兼太尉周頤告于太廟桓溫」に作る。

・二九B―一〇：「桓溫屯中堂」↓「桓溫屯中堂」

※張校本・孟校本・整理本は「桓溫屯中堂」に作る。

・二九B―一〇：「請▲溫罪」↓「請理溫罪」

※張校本・孟校本・整理本は「請理溫罪」に作る。

・三〇A―二：「穆帝初遷太宰」↓「穆帝初遷太宰」

※張校本・孟校本・整理本は「穆帝初遷太宰」に作る。

・三〇A―三：「溫乃表晞苞▲命」↓「溫乃表晞苞藏亡命」

亡命」

※張校本・孟校本・整理本は「溫乃表晞苞藏亡命」に作る。

・三〇A―四：「以王歸蕃」↓「以王歸藩」

※張校本・孟校本・整理本は「以王歸藩」に作る。

・三〇A―七：「公便宜奉行前詔」↓「公便宜奉行前詔」

※張校本・孟校本・整理本は「公便宜奉行前詔」に作る。

・三〇B―五：「帝問其故悅之對曰」↓「帝問其故對曰」

・三〇B―九：「至破家」↓「至破家」

※張校本・孟校本・整理本は「至破家」に作る。

・三〇B―一〇：「地名破家」↓「地破名家」

・三〇B―一：「桓玄嘗以▲遺之曰」↓「桓玄嘗以柳葉遺之曰」

玄嘗以柳葉遺之曰」

※張校本・孟校本・整理本は「桓玄嘗以柳葉遺之曰」に作る。

・三一A―四：「吳弗興曹晉顧良康」↓「吳弗興曹晉顧長康」



※整理本「校注」は陸本が「曹弗興」を誤って「弗興曹」に作ると指摘するが、そもそも『宋本』で「弗興曹」に作ることには言及されていない。

※張校本・孟校本・整理本は「吳曹弗興晉顧長康」に作る。

・三一 A―四一…「凱之能連」↓「凱之能運」

※張校本・孟校本・整理本は「凱之能運」に作る。

・三一 A―四一〇…「畫一像使心▲手」↓「畫一像使心運手」

※張校本・孟校本・整理本は「畫一像使心運手」に作る。

・三一 A―四二…「此其難▲」↓「此其難也」

※張校本・孟校本・整理本は「此其難也」に作る。

・三一 A―四二…「吳弗興晉顧長康人」↓「吳弗興晉長康又」

※張校本・孟校本・整理本は「吳弗興晉長康又」に作る。

・三一 A―五一〇…「僧▲設會」↓「僧衆設會」

※張校本・孟校本・整理本は「僧衆設會」に作る。

・三一 A―五二…「請朝賢鳴利▲疏」↓「請朝賢鳴利注疏」

※張校本・孟校本・整理本は「請朝賢鳴利注疏」に作る。

・三一 A―五二…「直打▲一百▲」↓「且□利一百萬」

※張校本・孟校本・整理本は「直打利一百萬」に作る。

・三一 A―六二…「將欲點眸子」↓「將欲點眸子」

※張校本・孟校本・整理本は「將欲點眸子」に作る。

・三一 A―六二…「第一日▲」↓「第一日門」

※張校本・孟校本・整理本は「第一日開」に作る。

・三一 A―六二…「第二日開可五萬」↓「第二日可五萬」

・三一 B―二…「種一▲松」↓「種一株松」

※張校本・孟校本・整理本は「種一株松」に作る。

・三一 B―六…「弟子早已伏膺」↓「弟子早已服膺」

・三一 B―一〇…「中宮商」↓「中宮商」

※張校本・孟校本・整理本は「中宮商」に作る。

・三一 A―五〇…「而彊知人家國事耶」↓「而彊知人家故事耶」

事耶

※張校本・孟校本・整理本は「而彊知人家國事耶」に作る。

・三一 A―七一…「初京師」↓「京師」

※張校本・孟校本・整理本は「京師」に作る。

・三一 A―八二…「注云」↓「注云」

※張校本は「注」に作り、孟校本・整理本は「注云」に作る。

・三一 A―一一…「使善無不達」↓「使善不無達」

・三一 B―一…「惡無不聞」↓「惡不聞」

※「惡」の右下に「無」が補われる。

・三一 B―五…「斬于建康市」↓「斬於建康市」

・三一 A―一一…「外恢經▲▲常之事」↓「外恢經□非常之事」

※張校本・孟校本・整理本は「外恢經略非常之事」に作る。

・三三 B―一…「帝曰▲▲公」↓「帝曰致意尊公」

註

※張校本・孟校本・整理本は「帝曰致意尊公」に作る。  
 ・三三B―二…「**▲歎之深**」↓「愧歎之深」

※張校本・孟校本・整理本は「愧歎之深」に作る。

・三三B―三…「忠臣哀**▲▲**」↓「忠臣哀主辱」

※張校本・孟校本・整理本は「忠臣哀主辱」に作る。

・三三B―四…「支遁嘗言曰」↓「支遁嘗言曰」

(1) 『宋本』全体の錯簡箇所については、拙稿「ヘンテコリンな六朝通史『建康実録』の最古刊本」(『東方』第四六一、東方書店二〇一九年)を参照。

(2) この整理本には、二〇一九年に刊行された映入り全八冊の縦組み繁体字版線装本(「南京伝世名著」本)と、二〇二〇年に刊行された全一冊の横組み簡体字版精裝本(「文学之都經典文庫」本)の二つの仕様が存在し、前者(整理甲本)には第一冊に「整理説明」・「目錄」・「序」・巻一〜巻二、第二冊に巻三〜巻六、第三冊に巻七〜巻八、第四冊に巻九〜巻一〇、第五冊に巻一一〜巻一二、第六冊に巻一三〜巻一四、第七冊に巻一五〜巻一七、第八冊に巻一八〜巻二〇が収録されている。後者(整理乙本)「整理説明」では前者の存在に関して何ら触れられていないので、両者が字体以外、全く同じ内

容であるような印象を受ける。しかしながら、子細に見て行くと、後者「整理説明」では、前者同文の字句や構成の一部に改訂が加えられると共に(前者には存在した文末の「張学鋒 二〇一九年一月十八日記於南京」の署名・日付は後者では省かれる)、整理作業に関する情報が増補されており、また本文では繁体字版を簡体字化するに当たって、二つの文字が一つの字体で表記されることになったため、不要となった「校注」(前者では各巻末に一括掲載されるが、後者では各頁に脚注として分載)が削られる、という差異が認められる(例えば「**曆**」と「**歷**」の文字の異同を論ずるもの等)。このため単純に後者が前者の改訂版とは見なし難く、また両者が必ずしも全く同一とは言えない側面が指摘される。なお、本書は張校本と孟校本を底本とし、校本として新たに陸本を加えている。その他、上海図書館蔵鈔本にも言及されるが、「整理説明」で葭森健介「上海図書館蔵鈔本『建康実録』考」(『徳島大学総合科学部紀要(人文・芸術研究篇)』五、一九九二年)の論旨が引用・紹介されるだけで、対校には用いられていない。

(3) 本稿が依拠する『宋本建康実録』第二冊収録の巻八には、九九〜一二〇頁において次のような錯簡が存在する。「誤↓正」で示すと、  
 九九・一〇〇頁(二二葉目) ↓ 一〇一・一〇二頁(第二三葉)  
 一〇一・一〇二頁(二三葉目) ↓ 一〇三・一〇四頁(第二四葉)  
 一〇三・一〇四頁(二四葉目) ↓ 一〇五・一〇六頁(第二五葉)

- 一〇五・一〇六頁 (二五葉目) ↓ 一〇七・一〇八頁 (第二六葉)
- 一〇七・一〇八頁 (二六葉目) ↓ 一〇九・一一〇頁 (第二七葉)
- 一〇九・一一〇頁 (二七葉目) ↓ 一一一・一二二頁 (第二八葉)
- 一一一・一二二頁 (二八葉目) ↓ 一二三・一二四頁 (第二九葉)
- 一二三・一二四頁 (二九葉目) ↓ 一二五・一二六頁 (第三〇葉)
- 一二五・一二六頁 (三〇葉目) ↓ 一二七・一二八頁 (第三一葉)
- 一二七・一二八頁 (三一葉目) ↓ 一二九・一二〇頁 (第三二葉)
- 一二九・一二〇頁 (三二葉目) ↓ 九九・一〇〇頁 (第二二葉)

となる。以下、本来の葉の順序に訂正して校勘を行う。なお、陸本には右の錯簡はなく、正しく編綴されている。

〔付記〕

二〇一八年九月二日～二〇一九年七月二日における『写影宋 建康実録二十卷』の長期間に互る閲覧・調査(全二八回)、及び複写に当たっては、静嘉堂文庫のご協力を仰いだ。末筆ではあるが記して謝意を表す。

本研究はJSPS科研費JP19H01325の助成を受けたものです。